

■ 令和2年3月の行事案内 ■

観察会と自然復元管理作業

* 気象条件等により変更する場合がありますので事前にお問い合わせください。

活動日

3月7日(土) 3月15日(日) 4月4日(土)

季節を感じる観察会：10:00～12:00

自然復元管理作業：13:00～15:30

場所：旧水産試験場管理センター前集合

参加費：100円(保険料代)

持ち物：帽子・タオル・飲み物・着替え等
(動きやすく汚れても良い動きやすい服装で！)

■ NPO 法人水元ネイチャープロジェクト 入会案内 ■

みなさんも私たちと一緒に水元の自然について考え、保全活動に参加してみませんか？

NPO 法人水元ネイチャープロジェクトでは、活動の趣旨に賛同いただける方の入会をお待ちしています。

＜一般会員＞ 入会金：2,000円 年会費：2,000円

一般会員は、法人の社員となります。年に一度の総会に出席していただき、会の事業や予算の承認など、会の基本的な運営に参加していただきます。

＜賛助会員＞ 入会金：5,000円 年会費：5,000円

賛助会員は、法人などの団体会員です。年に一度の総会に出席していただき、会の事業や予算の承認など会の基本的な運営に参加していただきます。

＜どろんこ会員＞ 入会金：無料 年会費：1,000円

どろんこ会員は、サポート会員です。会の事業に参加でき、総会等に参加する必要はありません。

＜行事案内・入会に関してのお問い合わせ＞

NPO 法人水元ネイチャープロジェクト

<http://mizumoto-np.topaz.ne.jp/home.html>

とんぼ 秋津

2020年3月号

秋津(あきつ)とは、
トンボの古い呼び名。
そして日本は昔、
「秋津島」と呼ばれていました。



よしえ画

＜3月＞

種名：マサキオオツバメ

学名： *Lysa zampa* (butler, 1869)

九州、先島諸島、東南アジアから北東アジアまで広く分布する。
前翅長は70mmで、幼虫の食餌植物はトウダイグサ科である。

蝶のような見た目の大きな蛾で、東南アジアでよく見られる。
日本における確認記録は、台風に流された個体による偶発的なものと思われる。

NPO 法人 水元ネイチャープロジェクト

復元ゾーンの生き物たち



<令和2年2月観察記録(主な生物)>

○植物：アカザ、アカツメクサ、アサザ、アマナ、アメリカイヌホウズキ、アメリカオニアザミ(ロゼット)、アメリカフウロ(ロゼット)、アレチギシギシ、イ、ウマノスズクサ、ウラジロチチコグサ、オオアカウキクサ、オオアレチノギク、オオイヌノフグリ(花)、オオジシバリ、オオバコ、オニアザミ、オニタビラコ、オニノゲシ(ロゼット)、オランダミミナグサ、カタバミ、ガマ(穂)、カモジグサ、カラシナ、カラスウリ、カラスノエンドウ、カントウタンポポ(花)、キカラスウリ、ギシギシ(ロゼット)、キュウリクサ(ロゼット)、クズ、コガマ、コゴメイ、コンフリ、ジシバリ、シロバナタンポポ(花)、スイセン、スイバ、スズメノカタビラ、セイタカアワダチソウ、セイヨウタンポポ(花)、セリ(ロゼット)、タネツケバナ(ロゼット・花)、チカラシバ、チチコグサ(ロゼット)、ツタバウンラン、ナズナ(ロゼット・花)、ノゲシ、ノビル、ハコベ、ハハコグサ、ハルジオン、ヒメオドリコソウ(花)、ヒメガマ、ヒメムカシヨモギ、フキ、フラサバソウ、ヘビイチゴ、ヘラオオバコ、ホトケノザ、ミソコウジュ、ミチタネツケバナ(花)、ミドリハコベ、メマツヨイグサ、ヤブジラミ、ヨシ、ヨモギ

○鳥類：アオサギ、オオバン、オカヨシガモ、カイツブリ、カルガモ、カワウ、カワセミ、カワラヒワ、キジバト、コガモ、コサギ、シジュウカラ、スズメ、セグロセキレイ、ダイサギ、チュウサギ、ツグミ、ハクセキレイ、ハシビロガモ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、バン、ヒドリガモ、ヒヨドリ、ムクドリ、メジロ、モズ、ユリカモメ

○その他：モンシロチョウ、コマツモムシ、ナナホシテントウ、ジャコウアゲハ(蛹)、オオカマキリ(卵)、ハラビロカマキリ(卵)、カダヤシ、ギンブナ、コイ、モツゴ、ウシガエル(オタマジャクシ)、スジエビ、アメリカザリガニ、ミシシippアカミミガメ